

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和3年5月27日(木)に、3年生を対象として、「教科(国語、数学)に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

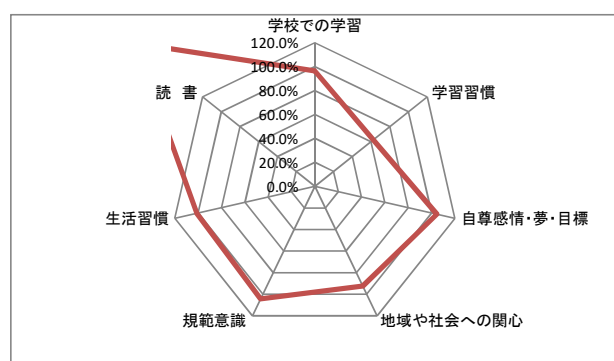
学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析(傾向や特徴)	全国平均正答率との比較
国語	話し合いの話題や方向を捉えたり、質問の意図を捉えることはできている。自分の考えを相手に伝えることが課題である。	下回っている
数学	図形や表やグラフから読み取る情報を数学的な表現を用いて説明することが課題である。	下回っている

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析

- ・学校の授業以外に一日あたりの学習時間で、1時間以上勉強する生徒の割合が全国平均よりも低い。家庭学習に対する取組を具体的に行う必要がある。
- ・読書に取り組む時間(1時間以上)が全国平均と比べかなり高い。継続的に読書に関する取組を行う。
- ・「自分にはよいところがある」「将来の夢や目標を持っていますか」の問いに対して肯定的な回答の割合は、全国平均より高い。家庭及び学校生活に関する満足感がうかがえる。

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

- ・学力向上のため「早鞆タイム」を設定(基礎的な計算、漢字、県名国名、英単語など)して、年間を通して取り組む。
- ・定期考査前の放課後などに質問教室を行い、個に応じた指導を図るなどの取り組みを各学年で行う。

② 家庭生活習慣等に関する取組

- ・保護者及び地域への周知・・・学校だより、学年通信を発行し、学校ホームページに掲載し、学校の実態と概況を伝える。
- ・基本的な生活習慣の確立・・・生活アンケートを定期的に行い、課題等と分析して解決へ向けて取り組む。